

Title	図書館の動き:新館長の就任
Author(s)	
Citation	静脩 (1992), 29(1): 8-8
Issue Date	1992-06
URL	http://hdl.handle.net/2433/37141
Right	
Type	Article
Textversion	publisher

図書館の動き

新館長の就任

4月1日、附属図書館の新館長に文学部の朝尾直弘教授が就任しました。西田龍雄前館長の停年退官にともなって、2月28日の附属図書館商議会において選出され、総長に推薦されたものです。

平成4年度調査研究員の委嘱

昨年度に引き続き、附属図書館調査研究員の委嘱が、2月28日の附属図書館商議会において承認されました。

「目録カードによる遡及入力の研究」

大型計算機センター 星野 聡 教授

「学術情報ネットワークの研究」

大型計算機センター 金澤 正憲 助教授

「図書館資料情報のオンラインサービスの研究」

大型計算機センター 久保 正敏 助教授

協議会の開催

4月28日、近畿地区国立大学図書館協議会が開催され、昨年度事業の報告、今年度役員の選出などが行われました。国家公務員の完全週休2日制実施に伴う附属図書館の運用状況については、開館11大学、休閉館3大学（検討中含む）でした。開館するところもほとんどが時間を短縮したり、サービス内容を縮小しています。また、6月に開催される全国の協議会総会に向けての討議も行わ

れ、地区として「国立大学附属図書館における自己評価について（大阪大学提案）」と「学生用図書購入費の増額について（京都大学提案）」を分科会テーマとして提出することが了承されました。

また、同日近畿地区国公立大学図書館協議会の企画委員会も開催されました。昨年度の事業報告や今年度の役員選出、事業計画についての討議が行われ、研究集会や講演会など、ほぼ昨年同様の事業を実施することになりました。

日米大学図書館ワンデイセミナーの準備

今年10月に東京で日米大学図書館会議が開催されます。日米の大学図書館関係者がその交流を図るため、何年かに1度日米交互に開催しているものです。

ワンデイセミナーは、この日米会議の出席者が限定されていることから、その他の関係者も参加できるようにするために開催されるものです。今回は10月12日に京都において、国公立大学図書館協力委員会と日本図書館協会大学図書館部会の共催で開催される予定です。

その実行委員会（委員長：京都大学附属図書館長）が4月28日に、同委員会幹事会が5月14日に附属図書館で開催され、その準備に向けて討議されました。

目次

〈巻頭記事〉	文献複写の入手がはやくなります	6
館長サナギの見習い日記	1	
〈資料紹介〉	〈図書館の動き〉	
新しいCD-ROMがはいました	3	
〈お知らせ〉	新館長の就任	8
土曜日のサービスが変更になりました	4	
利用者カードを発行しています	5	
図書館利用案内ができました	5	
	平成4年度調査研究員の委嘱	8
	協議会の開催	8
	日米大学図書館ワンデイセミナーの準備	8
	〈その他〉	
	平成3年度蔵書統計	7

後記

緑の美しい季節です。窓から眺める吉田山の緑もようやくその深さを増してきました。本誌も昨年百号を迎え新たな気持ちで再出発です。（す）

教養部キャンパスを埋めつくした新生生の群れも一段落、土曜開館も一応落ち着きほっとしたらもう6月。編集委員の任期も終わりです。（に）